

へんし 情報

組合等活性化情報誌

12
2022 vol.260

Contents

- 1 おらんくの組合
(東洋町特定地域づくり事業バツゲン協同組合)
- 3 第74回 中小企業団体全国大会 in 長崎 開催報告
- 5 おめでとうございます 秋の褒章／高知県功労者表彰
第1回正副会長会を開催
- 6 組合運営管理セミナー【基礎編】のご案内
ものづくりの基盤技術強化を図る研修会開催のご案内
- 7 高知・インド経済ミッション2022
- 9 組合いんふおめーしょん
- 10 青年部情報“雄飛”
- 11 インボイス発行事業者の登録期限が近づいています!
- 12 地域おこし協力隊レポート《室戸市》
- 13 県内各業界別動向(2022年10月)

人を継ぎ、組織を育む 高知県中小企業団体中央会
URL <https://www.kbiz.or.jp> E-mail info@kbiz.or.jp





東洋町特定地域づくり事業バツゲン協同組合
理事長 山下 龍造 氏

今月の組合
東洋町
特定地域づくり事業
バツゲン協同組合

＜組合プロフィール＞

理事長：山下 龍造

所在地：高知県安芸郡東洋町大字河内
1102番地7

TEL:0887-23-9555

設立：令和3年10月

組合員数：23名

主な事業

特定地域づくり事業としての労働者
派遣事業、教育及び情報の提供に
関する事業



東洋町特定地域づくり事業 バツゲン協同組合

移住者と地域を掛け合わせ、 たくさんの人が集まる町へ

県内初 「特定地域づくり事業」を実施

当組合は、令和2年6月施行の「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」に基づく「特定地域づくり事業」に取り組む事業協同組合として、昨年10月に設立、県内初の事業認定を取得して今年4月から派遣事業を開始しました。

特定地域づくり事業では、人口急減地域において、地域産業の人手不足の解消を図るため運営母体となる協同組合がマルチワーカー（季節ごとの労働需要等に応じて複数の事業者の事業に従事）として雇用した「地域づくり人材」を派遣する事業を行います。本制度を活用すると、人件費を含む組合運営経費に市町村から補助金（国からの交付金等の措置あり）が半分充てられるため、自治体や地域事業者にとって魅力的な制度だと思います。

また、当組合の派遣職員は移住者を中心

に雇用する方針で、移住者の雇用の受け皿となることで、東洋町役場が力を入れている「移住促進・定住化」の取り組みとも連携しながら、地域産業の活性化と過疎化対策に貢献したいと考えています。

豊かな自然の恩恵で 形成された地場産業

東洋町は、高知県の最東端に位置しており、徳島県と隣接する土佐の東の玄関口となっています。また、白砂青松の美しい砂浜が広がる白浜海岸や全国屈指のサーフポイントで知られる遠浅ビーチの生見海岸には多くの若者が通年で訪れます。さらに清流野根川では鮎釣りが楽しめ、自然景観や遺跡を楽しめる野根山街道など、海・山・川の四季折々の魅力を肌で感じることができます。

このような自然の恩恵のもとで、温かな潮風が育む気候を活かしたポンカン・小夏などの栽培をはじめ、黒潮がもたらす豊かな



水産資源を利用した水産業、海水浴やサーフィンなどの海洋レジャーに関連する観光業も盛んで、主な地場産業となっています。

制度活用に向けた 勉強会・先進地視察

当町では人口減少が県内ワースト2の減少率15.1%で、地域内での人材確保が困難なことから、業種を問わず慢性的に人手不足が生じていました。

そのような中、本制度の活用に向けて、高知県と役場の声がけで、地域の基盤産業になる事業者団体が集まり勉強会が開かれました。この勉強会では、早期に地域事業者の派遣ニーズ(繁忙期の人手需要)を調査し、これらをもとに通年の派遣職種パターンや、人件費・必要人数を設定した収支計画シミュレーションを作成して皆で検討しました。

また、検討を進めていく中、中央会の仲介によって全国初の認定先となる島根県海士町複業協同組合へ、役場と設立発起人など設立に関わるキーパーソンが視察に行く機会を得ることができ、視察後は当事者間の結束が固まり、設立に向けての準備作業が一気に加速しました。

派遣職員が 町内で活躍中!



現在、県外から移住した女性2名の派遣職員がいます。夏場はホテルや四国最大級の海上アスレチック&ジャンボスライダー「ビーチホッピング」といった観光業に、秋口には土佐備長炭を製造する製炭業やトマト農家に、そしてまもなく特産品のボンカン収穫が最盛期を迎えるためこちらにも携わってもらいます。

二人ともバイタリティーがあり、派遣先の事業所からの評判も良く、順調に派遣が行えています。初の派遣職員となった佐藤さんはスキルを活かして、組合HPのリニューアルやロゴ制作、インスタグラムなどのSNSを使って、派遣職員目線での情報発信をしてもらっています。また採用動画の制作にもチャレンジ中で、年内完成を目指しています。

町の希望を掲げ、 更なる事業展開に取り組む

今後も、年度目標である派遣職員5名雇用に向けて、佐藤さんの制作した新しい組

合HPや採用動画も活用して情報発信に取り組みながら、都市圏での移住相談フェアへの出席など直接面談にも注力し積極的にPRしたいと思います。また、派遣職員の方々には、様々な事業所に携わってもらうことで、たくさんの経験を積んでもらいながら、地場産業の魅力も感じていただき、将来的に派遣先への就職や独立開業を目指してもらえよう支援していきたいと思っています。

組合名称にある「バツグン」には、「かけ合わせる」を意味する「×(バツ)」と、多くの人が「群れる」という「グン」という町の希望が込められており、当該事業を通じて、移住者と地域を「かけ合わせ」、当町が多くの方々と賑わう町となれるよう、組合員及び派遣職員の方々を合わせて、事業の推進に努めていきたいと考えています。



HENSHIMO information

知これ
っちよいて

新しいHPやInstagramをご覧ください!

山と海に囲まれた人口2,200人ほどの小さな町「東洋町」は、ボンカンをはじめとした柑橘類の栽培や漁業が盛んで、生見サーフィンビーチなどの豊かな自然に溢れた町です。そんな町や当組合の活動を、この機会にリニューアルされた組合HPやInstagramをご覧ください。

また、スタッフも継続して募集しており、当組合への応募や東洋町への移住を検討・希望されている方に向けて、個別のオンライン相談会も開催しています。「移住に興味があって、一度話を聞いてみたい」「東洋町のことを詳しく知りたい」という方も大歓迎です!お気軽にお申し込みください。

※組合及びオンライン相談の詳細については右記組合HPをご覧ください。



HP

Instagram



スタッフ
募集中
です

第74回
中小企業団体全国大会

第74回 中小企業団体全国大会 in 長崎 “つながる ひろげる 連携の架け橋” ～希望の未来 中小企業「光」を結集～

去る11月10日(木)、『つながる ひろげる 連携の架け橋』をキャッチフレーズに、「第74回中小企業団体全国大会」が、「出島メッセ長崎」(長崎県長崎市)において開催されました。

大会には全国から中小企業団体の代表約2,000名が参集。本会からは、本会・久松朋水会長(協同組合高知機械工業団地・理事長)を団長に21名が参加しました。



森洋全国中小企業団体中央会会長

大会では小林洋司厚生労働審議官をはじめ、多数の来賓の臨席のもとに、石丸忠重長崎県中小企業団体中央会会長が議長に、桑野龍一福岡県中小企業団体中央会会長、佐藤勘三郎宮城県中小企業団体中央会会長がそれぞれ副議長に選任されて議事が進行され、「中小企業小規模事業者等の経営強靱化・成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」など14項目を決議しました。

また、組合運営が特に優良と認められ模範となる「優良組合」40組合、業界及び組合の発展に寄与した功績が顕著な「組合功労者」74名、中央会指導員として模範となる「中央会優秀専従者」27名の表彰が行われ、本県からは次頁の方々を受賞されました。

最後に次期開催地として宮城県が決定し、大会旗が森洋全国中小企業団体中央会会長から佐藤勘三郎宮城県中小企業団体中央会会長へ継承され、閉会となりました。

【第74回中小企業団体全国大会決議】

我が国は、人口減少と急速な高齢化など社会経済の構造的な課題に加えて、度重なる自然災害の発生、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化、国際情勢の緊迫化、原油・原材料価格や物価の高騰及び部品の調達難、最低賃金の引上げ等により、中小企業・小規模事業者の経営において物価・賃金上昇分の価格転嫁が進まず、事業継続や雇用維持などに危機的影響を与えている。

中小企業・小規模事業者はこれまでも幾多の困難に見舞われてきたが、そのたびに中小企業組合等連携組織の下に力を結集し、これを打破してきたところである。これまでの困難な局面において、中小企業組合等が果たしてきた役割を改めて想起し、中小企業・小規模事業者が直面する数々の課題を、中小企業組合等の連携力で解決していくことが必要である。

さらに、中小企業・小規模事業者がこの難局を乗り越え、地域経済を支え続けるためにも、中小企業・小規模事業者が協同して経営資源を補完・補強し合うことが効果的であることから、これを支援するため、国等からの迅速かつ手厚い支援策が不可欠である。

このため、国等に対し、長期化する新型コロナウイルス感染症への対応や原油・原材料価格の高騰などで困窮する中小企業・小規模事業者が、中小企業組合等連携組織の下で、安心して事業継続を行うことができる環境整備や取引適正化を進めるとともに、DXやカーボンニュートラルの推進、新分野展開などの事業再構築等を円滑に取り組むことができるよう、一層の支援を行い、ひいては、中小企業・小規模事業者の持続的な成長と豊かな地域経済社会の実現を図るべく、全国の約3万の中小企業組合等からの生の声である 本決議事項の早急な実現を強く求める。

【決議事項】

I. 中小企業・小規模事業者等の経営強靱化・成長促進支援等の拡充

1. 現下の危機的課題の克服に向けた経済再生支援策の拡充強化
2. 中小企業・小規模事業者の成長促進、持続的発展に向けた支援強化
3. 中小企業団体中央会の指導体制・支援機能の抜本的強化、中小企業組合制度の拡充・改善
4. 地域経済の好循環の推進、地域課題の解決

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 中小企業の人材育成・確保・定着対策
2. 新型コロナウイルス感染症の影響長期化に配慮した社会保障制度の見直し
3. 外国人技能実習制度と特定技能の見直し

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化・拡充
7. 官公需対策の強力な推進

Congratulations!

表彰者のご紹介

栄えある受賞おめでとうございます

優良組合表彰



高知県木製品工業連合協同組合

高知県高知市小倉町2番8号
理事長 池 龍昇
設立年月日 昭和60年5月23日
組合員数 39名
主な共同事業 共同販売

高知県産の杉・ヒノキ等を使用した家具や玩具等の木製品の共同販売事業を実施。県内外や海外のイベントへ出展し販路開拓・拡大に繋げることで、県産材の地産地消・外商に寄与している。また森林環境譲与税を背景とした木製品の利用促進に繋げるため、市町村に対して商品カタログ等を用いて木製品や木育活動のPRも行うなど、県内木製品製造業及び林業の振興に大きく貢献している。

組合功労者表彰



吉澤 文治郎

四国地区中小乳業協同組合
理事長
役員勤続年数 25年

平成22年に理事長に就任して以来、学校給食用牛乳の安定供給を図るため県内自治体と一体となって取り組み、国の学乳制度に寄与するとともに、供給価格の適正化を通じて組合員の事業活動に貢献している。また乳業を取り巻く情勢に関する情報を積極的に収集し、組合員への情報提供に務めている。
平成26年に高知県中小企業団体中央会の常任理事に就任し、県内中小企業の振興に尽力している。



参加者の皆様お疲れ様でした!

次期大会は
令和5年10月11日(水)
宮城県にて開催されます。
皆様の奮ってのご参加を
お待ちしております!

おめでとうございます

令和4年 秋の褒章



このたび、令和4年秋の褒章において、高知県酒造組合の竹村昭彦理事長が藍綬褒章を受章されました。

竹村氏は、本年度の「全国新酒鑑評会」において、高知県が金賞受賞率、入賞率ともに全国1位を獲得するなど土佐酒の品質向上に寄与されました。

また、イギリスやフランス等でのプロモーションイベント開催等により、土佐酒とともに高知の宴会文化のPRに努められたほか、オンライン飲み会「酔うちゅう部」とおして、世界に向けた土佐酒の魅力発信に取り組まれました。

藍綬褒章

竹村 昭彦 氏

高知県酒造組合 理事長
司牡丹酒造株式会社 代表取締役社長
高知県中小企業団体中央会 常任理事



令和4年度 高知県功労者表彰

このたび、令和4年度高知県功労者表彰の発表があり、発明考案分野において、本会2号会員である、株式会社高知丸高の高野廣茂会長が受賞されました。

高野氏は、橋の上部を先行架設し、くいを打ち込む架橋工法を発明。安全性の向上や工期の短縮を実現するなど、高知県発の技術を全国に向け普及されました。

発明考案分野

高野 廣茂 氏

株式会社高知丸高
代表取締役会長

令和4年度 第1回正副会長会を開催

本会では、去る11月15日(火)、高知市帯屋町「土佐ノ國 二十四万石」において、令和4年度第1回正副会長会を開催しました。

会では、久松会長が議長となり、本年度上半期における補助事業及び受託事業の遂行状況と下半期の事業執行予定について説明報告が行われるとともに、全国大会(長崎県長崎市)への参加報告や月次景況調査概要等についても説明が行われ、満場異議無く承認されました。



**お客さまの
笑顔の花を
咲かせるしごとです。**

お金のこと、経営のことのほかにも、デジタル化の推進や事業承継など、さまざまな経営課題に対してその道のプロフェッショナルが解決策を提案します。信用保証協会では、経営の「今」を全力でサポートします。

高知県信用保証協会

〒780-0901 高知市上町3丁目13番14号
TEL 088-832-3261 FAX 088-822-7069
URL <http://www.kochi-cgc.or.jp/>

**.com
BANK**

あなたと未来を創る

金融機関から「金融サービス企業」へ・・・
真にお客様から信頼され、
お客様に有益な商品・サービスが
提供できるよう全役職員が
「意をひとつ」にして
取り組んでいます。

高知信用金庫

〒780-0822 高知市帯屋町2丁目4番4号
TEL 088-832-2525 FAX 088-862-1115

ドットコムバンク 検索

組合運営管理セミナー【基礎編】のご案内

－ 組合等 人材育成事業 －

参加費
無料

●開催日時 令和4年12月13日(火) 13:30～16:30

●開催場所 高知県中小企業団体中央会 研修室(高知市布師田3992-2 4階)

【研修概要】 会員組合の皆様に適正な組合運営管理に役立てていただくため、組合制度の基礎、年度末から総会後までの諸手続き、届出・申請・登記手続き等のポイントについての解説及び組合士試験問題を活用した演習問題に取り組むセミナーを開催いたします。

【講師】 中央会指導員

【募集人員】 30名(※先着順)

【申込方法】 下記記載のURL又は右のQRコードより「参加申込書」をダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、下記のお問い合わせ先までFAX又はメールにてお申し込みください。

【本会HP】 https://www.kbiz.or.jp/r4_unei/

申込サイト



お問い合わせ先

高知県中小企業団体中央会 経営支援部(担当:小澤・高瀬)

TEL:088-845-8870 FAX:088-845-2434 E-mail:ozawa@kbiz.or.jp

ものづくりの基盤技術強化を図る研修会の開催案内

－ 生産性向上支援訓練受託事業 －

参加費
無料

■□開催案内■□ 工場管理研修(工場管理の基礎【5S】)

●開催日時 令和5年1月17日(火) 9:00～17:00

●受付場所 高知県立地域職業訓練センター 第3研修室(高知市布師田3992-4)

※【工場視察】株式会社山本工作所(南国市田村乙1851番地2)

【研修概要】 本研修では、5Sに関する基本的な知識及び手法の習得を目指して講義を行います。また、工場視察及び視察後の参加者間での意見交換等を通じて、自社の課題解決に繋げる生産管理の知識や手法の理解と習得を図ります。

【講師】 システム企画 代表 植村 忠夫 氏

【募集人員】 20名(※先着順)

【申込締切】 令和4年12月12日(月)

【申込方法】 下記記載のURL又は右のQRコードより「申込サイト」にアクセスしてお申し込みください。

【本会HP】 https://www.kbiz.or.jp/r4_5s/

申込サイト



お問い合わせ先 高知県中小企業団体中央会 経営支援部(担当:小澤) TEL:088-845-8870

挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company



東京海上日動



高知・インド経済ミッション2022

視察報告

本会では、日印国交樹立70周年の節目となる今年、在大阪・神戸インド総領事館の後援をいただき、「高知県とインドとの友好促進」、「インド人材の招へい」、「インド海外展開の拡大」をミッションとしてインド共和国・チェンナイ及びデリーへの視察を高知県と共同で企画し、去る10月16日(日)～20日(木)の5日間の日程で、本会・久松会長を団長とする総勢20名の訪問団にてチェンナイの行政機関や日本語学校、デリー周辺の日系企業等を視察するとともに、在チェンナイ日本総領事館や在インド日本大使館を訪問して今後のインドとの友好交流促進について意見交換を行いました。



チェンナイ

在チェンナイ日本総領事館訪問

在チェンナイ日本総領事館を訪問し、宮田首席領事及び小田川領事とインド人材やインド進出について意見交換を行いました。

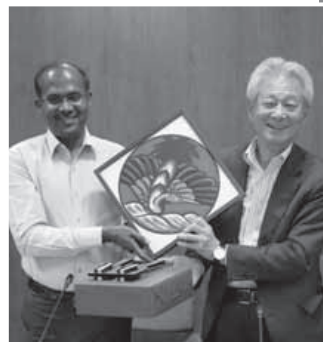
久松団長からは、高知では農業分野の技能実習生の受入れをはじめ、インド人材の受入れに積極的に動こうとしていることやインド進出支援を来年度以降も積極的に行っていく予定であることをお伝えして、総領事館の協力についてお願いをしました。

宮田首席領事からは、水際対策の緩和後、初となる地方自治体からの訪問であったため熱烈な歓迎を受けるとともに、「コロナ期間は二国間の交流が難しかったが、これから交流が進むと思う。日本でインドは未だ遠い国であるが、来ていただくとその良さがわかると思うので、こうした視察ミッションが、先入観を払拭する契機となって欲しい。総領事館としてもできる限りサポートしていく。」との心強いエールをいただきました。



タミルナードゥ州農業省訪問

農業省では、事務方トップである次官が公務多忙でお会いできませんでしたが、「I.A.S(インド中央政府より派遣される高級官僚)」のDIRECTORより訪問のお礼の後、農業省の主な施策説明(機械化、デジタル化、オリジナルアプリ「ファーマーアップ」、豆類・雑穀栽培支援等)をしていただきました。その後、視察団よりJ-Methods Farmingの概要、外国人技能実習制度、高知県の外国人材確保支援施策等について説明を行い、活発な意見交換を行いました。



外国人技能実習生送出機関・日本語学校視察

3年前のインド視察時より本会と連携している送出機関・日本エデュテック(インド工業連盟)の本社(日本語学校施設併設)を訪問して、会社・事業概要の説明を受けるとともに、日本語授業の見学、日本での就職を希望するIT技術者との交流を行いました。

また、視察に参加していた監理団体が農業分野の特定技能外国人の面接試験を行ったため、双方了承のもと、面接の様子も見学させていただきました。



コヤンベドゥ・ホールセール・マーケット・コンプレックス (KWMC) 視察

青果物の輸送・流通の状況を確認するために、チェンナイ市内にある南アジア最大級の卸売市場（青果、果実等の複合卸売市場）を視察しました。

「コヤンベドゥ マーケット」は1996年に開設され、約3,100の店舗（卸売＝約1,100、小売り＝約2,000）で構成されています。市場は24時間営業で、毎日約10万人の来場者がいるため、朝6時半に市場を訪問しましたが大勢の人や車両で賑わっていました。



デリー

DAAWAT亀田視察

チェンナイから首都デリーに移動して、デリー近郊のハリヤナ州にある亀田製菓株式会社のグループ会社「DAAWAT亀田」の工場を見学しました。

亀田製菓は2017年に現地食品大手と合併会社「DAAWAT亀田」を設立。同州でインド版の柿の種「KARI KARI（カリカリ）」をつくり、2020年1月から販売を始めました。

インドで徹底的にマーケティングとテイスティングを繰り返して消費者ニーズを探ったり、インドをグローバル拠点と位置付けて輸出を始める等、インド進出における先進事例として大変勉強になりました。



在インド日本大使館訪問

インド視察の最後では、在インド日本大使館を訪問して、経済担当公使の北郷氏と意見交換を行いました。

初めに、久松団長より今回の視察の全行程を随行いただいた保坂書記官へ謝意をお伝えした後、視察概要や来年度以降の高知県とインドの交流促進について説明しました。

続いて、北郷経済担当公使から「インド人に対してもっと新しいイメージを持ってもらい、親近感を持ってもらえることが大切で、こうした視察団は両国にとって非常に意味のあることである。」と評価と期待の言葉が述べられました。



本会では、今後もインド人技能実習生やIT分野の人材確保に関する支援を継続し、双方にとってWIN-WINとなる交流を目指していきます。



参加者の皆様ありがとうございました。中央会では今後も、海外の優秀な人材の確保、技術交流・海外展開を検討されている皆様に寄り添い支援を行ってまいります。





い

KUMIAI
information

1

高知県中央木材工業団地協同組合

組合設立50周年記念祝賀会を開催!

高知県中央木材工業団地協同組合(三木康弘理事長)では、去る11月11日(金)、高知市上町「城西館」において、設立50周年記念祝賀会が盛大に開催されました。

当組合は昭和47年に設立。当時は大手企業の住宅産業への進出、新建材産業の急成長、外国産材の消費定着化などにより、県内木材業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況でした。加えて、製材工場や木工所周辺が市街地化し、騒音や粉塵等が社会問題化していました。

このような中、諸要因を打破して企業の維持発展の活路を見出すため、高度化事業による集団化により、生産性の向上や経営の合理化を目指して有志が結集したのが始まりです。設立当初は幾多の困難が立ち塞がりましたが、協働の力でこれを乗り越え、昭和57年に現在の南国市双葉台に団地落成を果たしました。

祝賀会では、組合の発展に貢献された歴代理事長や職員に記念品が授与されるとともに、組合員一同、相互扶助のもと、半世紀の時を通過点としてさらなる飛躍を目指していくことが宣言されました。



ろ

KUMIAI
information

2

宿毛建設資源利用協同組合

組合設立30周年記念式典を開催!

宿毛建設資源利用協同組合(石崎順理事長)では、去る10月28日(金)、宿毛市平田町「スワロー会館」において、来賓や歴代理事長、組合員など約50名の出席の下、設立30周年記念式典が盛大に開催されました。

当組合は、幡多地域の建設業者が組合員となり、建設工事の副産物である残土の処理、建設廃棄物の中間処理と再生骨材・木材チップの生産を共同で行うことを目的として、平成4年に設立し、この度30周年をむかえることとなりました。

式典は、石崎順理事長の挨拶で始まり、公文副理事長より、組合の30年のあゆみが紹介されました。また、石崎理事長より歴代理事長へ感謝状が贈呈された後、竹村前理事長より設立に至るまでのご苦労や、関係者への感謝の言葉が述べられました。

式典終了後には、記念祝賀会が盛大に開かれ、多くの来賓がご臨席する中、地域の代表者や組合員間で交流、親睦を深め、終始和やかな雰囲気のもとに執り行われました。

今後も地域インフラを守る建設業の支えとなる組合として、地域社会の持続可能な発展への貢献が期待されます。



は

KUMIAI
information

3

高知県酒造組合

関 西で土佐酒をPR!

高知県酒造組合(竹村昭彦理事長)は、関西での土佐酒PRのため、去る11月9日(水)に大阪新阪急ホテルにて高知県が主催する「高知家プロモーションin関西 プレス発表会&情報交換会」に出席されました。

当該イベントでは、関西圏のメディアを招待して、新たに大阪府梅田にて高知県のアンテナショップをオープンする計画の発表や県内市町村とともに高知の食や自然など高知の魅力が紹介されました。

当組合からは、竹村理事長及び上東技術顧問より土佐酒は全国新酒鑑評会において金賞率・入賞率で全国一位を得るほど高い品質であることや世界初の宇宙深海酒が完成したことなど土佐酒の魅力が紹介されるとともに、高知の17蔵元から提供された30種類を超える土佐酒が振舞われ、多くの参加者が土佐酒の魅力を体感されました。



中央会 青年部情報

YUHI: Small and Medium Enterprises
Organization Central Meeting, Kochi

雄飛

西部交流会を開催

高知県中小企業青年中央会(安宅弘明会長)では、去る11月1日(火)午後5時より「Shimanto+Terraceはれのば」(四万十市)において令和4年度西部交流会を開催しました。

本交流会は、次代を担う経営者・後継者育成の一環として、会員相互の親睦を一層深めるとともに、本県の地域間交流を促進することを目的として毎年幡多地域で開催しています。

今回は幡多地域での地域活性化の取組みについて「Shimanto+Terraceはれのば」の視察を実施し、四万十にぎわい商店株式会社の國吉氏より、施設整備までの経緯や施設と近隣商店街、行政等との連携した取組みについてご説明いただいた後、これらの内容について活発な質疑・意見交換が行われました。

交流会後には懇親会も開催し、参加者間の交流親睦を一層深めることができました。



メリット
1

通常の定期預金より
高めの金利設定
※当金庫内比較

メリット
2

固定金利の半年複利で
効率よく資産運用

メリット
3

ライフスタイルに合わせて
選べる期間1年・2年・3年
※原則として満期日前の解約はできません。

個人のお客さま向けの

定期預金

マイハーベスト

※詳しくは、店頭のチラシまたはホームページをご覧ください。

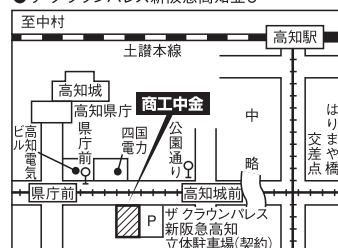


商工中金

高知支店 088(822)4481

〒780-0870 高知市本町4-2-46

●ザ グラウンパレス新阪急高知並び



インボイス制度対応セミナーを開催しました

去る11月2日(水)インボイス制度対応セミナーを開催しました。
本セミナーでは、濱本健太郎税理士が講師となり、インボイス制度の概要・仕組みや、免税・課税事業者それぞれに求められる対応や留意点についてご講義いただきました。
本会では引き続き、インボイス制度導入にあたり対応に悩まれている組合をサポートしていきますので、お気軽にお声がけください。



濱本健太郎税理士



セミナーの様子

インボイス(適格請求書)発行事業者の登録期限が近づいています!

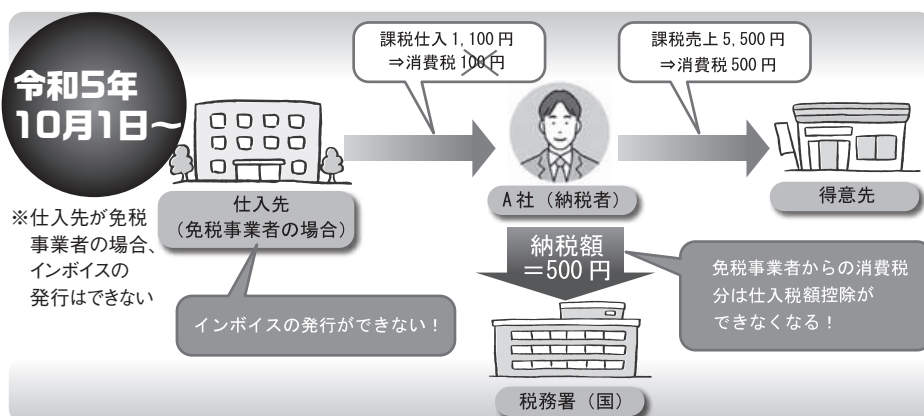
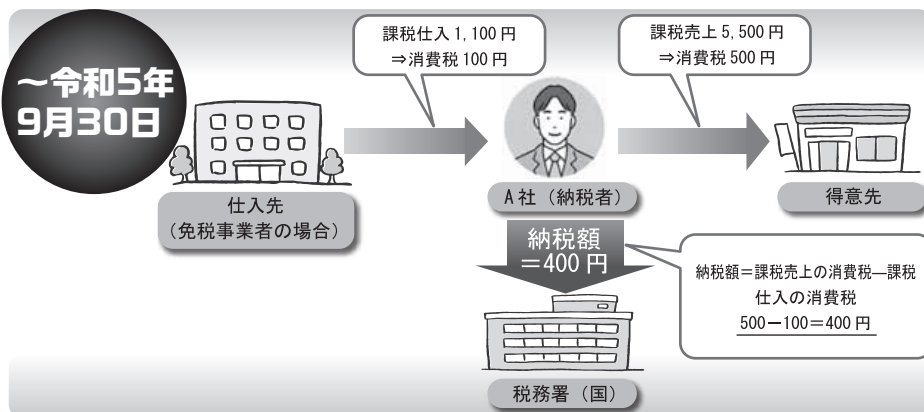
インボイス制度が始まるとどうなる?

令和5年10月1日より、インボイス発行事業者には、取引の相手方(課税事業者)の求めに応じて、インボイスの交付及びインボイスの写しの保存が義務付けられます。

また、売り手がインボイス発行事業者の登録をしていない場合、買手はインボイスの原本の保存ができなくなるため仕入税額控除ができなくなります。

なお、インボイスを交付できるのはインボイス発行事業者に限られます。

インボイス発行事業者となるためには登録申請手続きを行い、登録を受ける必要があります。課税事業者でなければ登録を受けることはできません。免税事業者は登録をすると課税事業者となり、納税義務が生じます。



インボイス発行事業者登録申請について

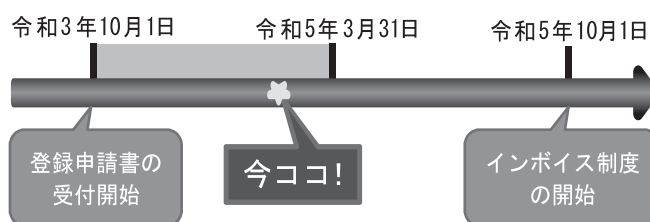
インボイス発行事業者になるためには、税務署への登録申請が必要となります。

令和5年10月1日より制度を利用するためには、インボイス制度の登録申請は原則令和5年3月31日までとなっています。登録申請後、審査に一定の時間を要しますので、早めの提出をお願いします。

※令和5年3月31日を過ぎても登録申請を行うことは可能です。

本会では、インボイス制度に関する相談対応を行っております。

勉強会の開催や専門家への相談など、サポートを希望される場合は本会までお問い合わせください。



お問い合わせ先 高知県中小企業団体中央会 連携推進部(担当:松村 ) TEL:088-845-8870

室戸市の魅力ときっかけ

大学生の時、室戸に旅行へ来た事があり、その時に室戸の雄大な自然と美味しい食に触れ、いつかこんなところに住みたい!と思っていました。その後、機会があってこの地域おこし協力隊のお話をいただき、現在に至ります。

室戸に移住して、一番感じたのは時の流れの穏やかさです。都内に居た時は喧騒の中をせかせかと時間に追われるように過ごしていました。ですが、こちらでは雄大な自然がすべてを包み込んでくれるようで、とても穏やかな気持ちになります。波の音、鳥の声、潮の香り、そびえたつ山、びっくりするくらい星の空…ふと見た景色に心を奪われることばかりです。また、人とのつながりが厚く、温かい人間関係に心があたたかくなることも、室戸に来てよかったなあと思うところ です。

もちろん、困ったこともありました。それは、車社会と土佐弁です。まず車社会。ATの免許は取っていましたが、身分証明のために取ったので、完全なるペーパードライバーでした。休みの日は駐車場の練習をして、おっかなびっくり車に乗りながら慣れて行きました。業務中には吉良川町に出ることが多々あり、そのたびに職場の方が危ない運転に付き合ってくれて、なんとか事故せずに車に乗れるようになりました。仕事はもちろん、車の運転にも付き合ってくれた職場の方には感謝がありません。また、土佐弁は関東から来た私にとっては耳慣れない言葉とイントネーションでした。会話のちょっとした言葉がわからなかったり、困ったこともありましたが、周りの方が『○○って言葉は～こんな意味だね』と、みんなで教えてくれたりたくさんお話をしてくれたので、いつの間にか好きな言葉になっていました。今では実家から帰って来て、高知空港に着いて聞こえてくる土佐弁に「帰ってきたなあ」と思うほどになりました!困ったこと、と言っても、住んでいううちに自然と解決していくことの方が多いと思います。

協力隊の活動内容、「吉良川のまちなみ」の魅力

皆さん、重要伝統的建造物群保存地区である、「吉良川のまちなみ」はご存じでしょうか?

重要伝統的建造物群保存地区とは、全国各地に残る歴史的な集落・町並みの中で特に価値が高いと判断され、国から選定された地区のことです。水切り瓦やいしごろなど、地域の特性にあった実用性と美しさを兼ね備えたまちなみは、後世に残したい風景なのです!また、四季折々で、まちなみの色や雰囲気が変わるのもとても魅力です。今の時期は、ひんやりと澄んだ空気の中で、凜とたたずむまちなみの様子が見られます!季節によって表情や雰囲気は変わるけれど、いつも変わらずそこにあるまちなみは、どこかホッとするようにも感じます。そんな吉良川の日常の様子を写真や動画にして、情報発信することも私のミッションの一つです。

また、吉良川のまちなみで炭アクセサリー作りやそば打ち体験を行ったり、様々なイベントを企画しています。まちなみを散策して素敵なまちなみを見て知ってもらい、楽しい体験をしてもらえるようにイベントを行っていきますので、是非来てくださいね。

イベント情報、まちなみの日常はInstagramにて随時発信していますので、チェックしてみてください!



竹村 春菜
(たけむら はるな)

出身:東京都北区 平成9年生まれ

室戸市概要

人口:12,056人(令和4年9月30日現在)

世帯数:7,046戸(令和4年9月30日現在)

市役所所在地:

高知県室戸市浮津25-1

TEL:0887-22-5142

<http://www.city.muroto.kochi.jp>



HIRAGAWAMACHINAMI



室戸市で見つけたこじやんとえいところ!

道の駅 キラメッセ室戸

【道の駅 キラメッセ室戸】は、黒潮洗う高知県室戸市吉良川町の海岸沿いに位置し、眼下には太平洋が広がる風光明媚な道の駅です。

敷地内には、地元名産の鮮魚や鯨料理などが味わえるお食事処『鯨の郷』、鮮魚や朝獲れの新鮮野菜・果物などの直売所『楽市』、クジラ漁の資料館『鯨館』がごぞいます。

ドライブ中のお休み処として、室戸の地元の名産をご堪能頂ければと思います。



〒781-6833 高知県室戸市吉良川町丙890-11

食遊(レストラン) TEL 0887-25-3500 楽市(直売市場) TEL 0887-25-2918

鯨館(鯨資料館) TEL 0887-25-3377

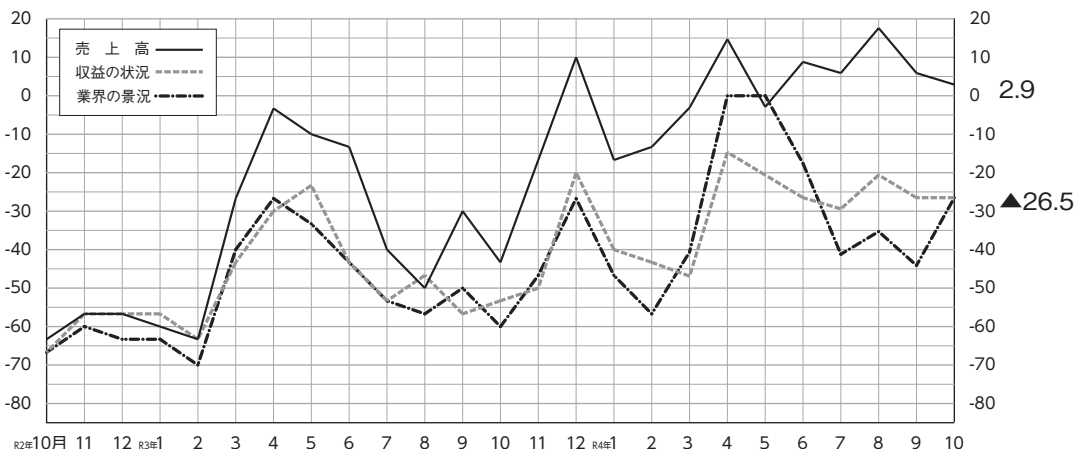
休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)





情報連絡員報告

DI(景気動向指数)



業界の状況

- ☀️ …好転
- ☁️ …やや好転
- ☁️ …不変
- ☁️ …やや悪化
- ☔️ …悪化



なし

	コンクリート製品	昨年度の繰越工事の出荷も少しはあり、令和4年10月分は前年同月よりやや好転した。今後、出荷量が増加する時期であるので期待したい。
	青果卸売	販売価格の上昇により売上高は前年対比で約2割近く増加しているが、仕入原価も上昇しているため収益状況は変化なし。新型コロナウイルスの影響に関しては、業務関係で週末には多少入出も増えてきたが、平日はまだだ。
	電気機械器具小売	全商品平均で101.3%。前年同期より少しアップした。工事部材などの価格高騰で収益は厳しい。
	商店街(四万十市)	飲食業や観光向け支援・地域振興券を持った県外客を多く見かける。全ての店で使えるわけではないが好評のようだ。会議後の懇親会等も再開されはじめた。
	旅館・ホテル	県観光リカバリーキャンペーンに加えて、12月20日まで全国旅行支援が実施されるため、期間中の予約状況は好転の見通しだが、終了後の強力な反動が予想される。10月は様々な商品・物品の値上げが相次ぎ、売上原価、販売管理費の上昇傾向がより鮮明となった。
	飲食店	本月は感染者が激減し、人心が落ち着き人流が増加した。前年同月比で景況は好転、例年と比較しても(コロナ禍以前)売上は8割程度まで回復したが、光熱費や仕入価格が高騰しているため収益的には相殺されている感がある。やはり業態により売上に大きな差がある。新型コロナウイルスの影響による集客減、売上の低下はまだ続いており、今後は業界(県内事業主)の規模が縮小する恐れがある。

	食品団地	10月度の市況は、足踏み状況。コロナ禍の影響は低下。エネルギーコストである電気代、ガス代等の上昇によって販売価格は上昇気味であるが、収益状況は悪化している。先行きの見通しが悪材料ばかりで今後の経営状況が心配される。
	テントシート	コロナ禍ではあるが、各種イベント開催がされるようになり、イベント関連主力の事業所も活気が戻りつつある。しかし、まだまだ厳しい状況。
	製材	市況は全般的に弱含み推移であるとの声が多かった。
	刃物製造	今年は3年ぶりの刃物まつりも開催され、待ちに待っていた方もおられ、思いの外売上が上がり、昨年度を上回ることができた。
	船舶製造	生産状況は高水準が続いている。中途採用で数名人員が増えている。
	珊瑚装飾品製造	10月の取引額は前年同月比86%と、依然として低調であり、回復の兆しは見えない。
	卸団地	・仕入商品価格の上昇、また、電気代、油代の値上げによる収益の悪化。・外食、観光業の動きは出てきたので売上は戻りつつあるが、全体的な経費増により、結果的に売上が不足。新型コロナウイルスに関しては、売上減少、社内でのコミュニケーション不足などの影響が出ている。
	生鮮魚介卸売	売上については、前年度よりは上昇。カツオ・マグロ等は順調に入荷が有るが、仕入単価が上昇している。
	各種小売(土佐市)	新型コロナウイルスは落ち着いたようにも見えるが、各小売店ではひまな状況が続いている。飲食業に関したら、昼間は少し人が動きだしている様子。いつコロナ前に戻ってくれるのか。年末には第8波とインフルエンザの流行も心配されている為、元気がない。

	中古自動車小売	中古車市場の流通不足や新車納期の長期化が続く不透明な状況だが、地場でのオークションを開催。高年式車の取引が軽・普通車ともに活発に動いており取引金額、成約率も増加。ロープライスも殆ど成約となり、近年にない高成約の取引結果となった。
	商店街(高知市)	中央公園地下駐車場 売上前年比:115.9%、利用台数前年比:113.2%。週末は観光客やイベントもあって人出は回復しつつあるが、平日はまだだの状況にある。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比93%、全旅クーポン加味して341%。全国旅行支援事務処理に追われ、電子クーポンで手軽に発行可能な全旅クーポンを利用する傾向に、歯止めがきかない。組合クーポン利用離れは今後も続く傾向。
	IT事業	大型案件についての相談がやや減っているように見受けられる。慢性的な人材不足は続いており、需要過多の状況は続いているとみられる。今後、補助金を使った相談案件は増えていくものと思われる。
	クリーニング	リモートワークなど生活スタイルの変化が定着してきており、人の動きも出始めてきたが、需要を押し上げるには至っていない。販売価格改定も進んでいるが改定は1回限りのことが多く、度重なるエネルギー価格、資材費の上昇には対応できていない。新型コロナウイルスの影響としては、行動変容が進み、コロナ前の需要には届かない。今後も行動変容が定着し、新たな戦略が必要となる。

	酒類製造	先月の値上げ前仮需も影響か。(売上高の減少は)懸念されていたことではあるが今月の数字に多少現れたと思われる。
	木製品素材生産	全体的に値下がり傾向で、特にヒノキについては値下がりしてきている。また、製品(3m材・4m材)によって価格差が出ている。入荷量は、前月とあまり変わらない状況であり、販売量は確保できているが、今後(年末)に向けても厳しくなると思われる。新型コロナウイルスは減少してきており、コロナによる木材価格への影響は少ないと思われるが、先行きはわからない。
	建具	仕事量が少ない。職人さんの高齢化が進んでいる。ウッドショックの建材、品薄が続いている。新型コロナウイルスの影響で飲食業からの発注が少ない。
	製紙(家庭紙)	例年(コロナ前)なら、行楽シーズン、年末に向けての荷動きが活発になる時期ではあるが、今年は厳しい状況が続いている。価格転嫁交渉が、十分に進んでいない模様。
	製紙(手すき和紙)	まだまだコロナ禍や原材料の高騰・円安に伴い、取引先に価格交渉をしているが、なかなか厳しく、一向に景気が良くならない状態が続いている。新型コロナウイルス・原材料高騰・円安といつまで続くのか見当もつかない。
	印刷	売上については価格改定により現状維持か。設備稼働率は低下、県外需要は業種によるが昨年同等、県内需要は昨年参議院選挙特需の影響も有り全体として低下した。又用紙等の再度価格改定もあり、厳しい状況が続くと思われる。
	生コンクリート製造	10月半月の出荷数量は、対前年比72.6%、4月からの累計出荷量は81.8%で地区的には前月同様に高幡地区を除き全県下で減少傾向が続いている。生コン価格は、前月に引き続き協議・検討中。
	機械団地	団地内の業況は、横ばいで推移している。一部に電気料金の高騰や製品需要が低下する季節的な要因により、収益悪化を招いているとする事業所がある。
	ガソリンスタンド	ロシアのウクライナ侵攻も継続している。また円安により、原油価格は高止まりが続いている。10月は新型コロナウイルスの感染が着着きをみせ、旅行者も増えており、経済は少しずつ動き始めている。政府による燃料油価格激変緩和事業の補助期限は12月末より更に令和5年9月末まで延長となったが、1月から5月までに段階的に補助額上限35円を25円に緩やかに引き下げる見込みで実質毎月1~2円程の値上げとなる予想である。それに原油価格や為替の影響を受けることになる。現状の市況価格については毎週原油価格は上下するものの補助金の影響もあり市況が動くほどの価格ではない。新型コロナウイルスの影響に関しては、感染者は減ってきたが販売数量は感染前には戻らない。
	商店街(安芸市)	10月16日(日)に商店街の空き店舗を活用し「高校生マルシェ」が開催された。このイベントは、安芸市中心商店街等振興計画で誕生した「商店街魅力向上委員会」が企画。パズーや縁日、キッチンカーの出店など、高校生が中心となって運営を行った。10月30日(日)には、8月に延期となっていた花火大会が開催された。商店街を通り花火大会の会場へ向かう子ども達にハロウィンのお菓子を配った。配ったお菓子は商店街や地域の方々に寄付を頂いた。コロナ禍でイベントがあまり行われていなかったのも、多くのお客様に楽しんで頂けた。
	一般土木建築工事	令和4年10月分の公共土木用生コン出荷量は、前月比107.9%、前年同月比72.6%。令和4年4月から令和4年10月累計においては前年累計対比81.8%。10月の工事請負金額は前年同月比で102.50%、前年対比累計金額では83.6%。令和4年10月末時点の前年対比累計請負金額は、国:83.1%、高知県:同累計69.5%、市町村:同累計98.0%となっている。生コン出荷量、工事請負金額共に累計では落ち込んでいるが、災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続している。生コンクリート単価については、引き続き値上げ交渉を行うことと共販率上昇に向けた取り組みを当組合としてもできることを行っていく。共販率の引き上げに苦慮している。来年早々予定の生コンクリート価格引き上げについては、高知市内は相変わらず、難航予想。その他の地区については、概して引き上げに理解を得ている。
	電気工事	組合員の施工する電力引込線工事は、前年同月比71.8%となった。高知中央地区が対前年比58.5%と大幅に減少した。
	一般貨物自動車運送	燃料価格は原油価格の落ち着きにより値下げへの期待感があつたが、円安の影響は大きく、10月の軽油週決め価格は高下し、トータルではほぼ前月価格から横ばいの高値となった。コロナの影響による物量の低下は続いており厳しい状態が続いている。また、新型コロナウイルスの影響で荷動きが悪く売上が伸びない。荷動きが戻らなければ収益が落ち、経営を圧迫する。

	タクシー	実働1日1車当りの前年同月比営業収入:145.9%、輸送回数:141.0%、実働率は51.1%。1日当たりの実績は前年同月より回復傾向だが、実働率が悪く(運転者不足)総収入が増えず、経営状況はまだまだ厳しい。
---	------	--

経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
大樹生命



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障

団体扱生命保険

団体扱* (月払) の場合、
一般扱 (口座振替月払等) で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクに
対してお役に立つ保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社



- * 団体扱とは、高知県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。
- ※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。
- ※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」および高知県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 高知営業部

〒780-0053 高知県高知市駅前町 1-8 第7駅前観光ビル 2F TEL:088-882-3402
<https://www.taiju-life.co.jp/>

大樹-KB-2019-1064 (損保)A-2021-101 (2021.4)
R-2021-1001 (2021.4)

制作
発行



人を継ぎ、組織を育む

高知県中小企業団体中央会

※組合等活性化情報誌「へんしも情報」は、環境に配慮した植物性インキを使用しております。

〒781-5101 高知市布師田3992-2 中小企業会館 4階
TEL 088-845-8870 FAX 088-845-2434
URL <https://www.kbiz.or.jp> E-mail info@kbiz.or.jp

